

「地域の将来像や そこで暮らす人々の希望の実現」 を目指す

地域づくり
何から始めたら…

生まれ育った地域を
元気にするには…

集落で話したいけど
どうしたらいいの…

地域計画を
話し合わないと…

入門コース 地域づくりに関心がある人

どなたでも参加OK！

1 地域づくり総論 地域づくりとは何か。全国にある事例の“プロセス”を解剖し、地域づくりの本質と勘所を解りやすく論じます。 明治大学 農学部 教授 小田切 徳美氏 5月16日(火)19時～	2 イノベーション 価値創造型で地域活性化に取り組むイノベーターの集合知「超絶まちづくりのビジネスデザイン技法」を伝授します。 一般社団法人 INSPIRE代表理事 BBT大学大学院 MBA教授 谷中 修吾氏 5月19日(金)19時～	3 生産・流通技術開発 命に欠かせない食への関心を取り戻し、農業×福祉など農業をより社会につなぎ込むことで地域課題は解決します。 株式会社 エムスクエア・ラボ 代表取締役社長 加藤 百合子氏 5月24日(水)19時～	4 地域資源利活用 地方のムラには、「なんにもない」を100年、1000年継げてきた力、無事の暮らしや経済文化、すなわちビジネスモデルがあるのです！ 滋賀県立大学 地域共生センター 講師 上田 洋平氏 5月29日(月)19時～	5 地域づくり実践 I 農村を包む全ての資源を活かしながら、大切なふるさとを元気に輝いた形で次世代に繋げたい。「まめや」の願いです。 農業法人 せいわの里まめや 代表取締役 北川 静子氏 6月2日(金)19時～	6 地域づくり実践 II 「生きたい場所がある。だから、生業(なりわい)を創る。」農山村で過ごすことの価値を、事業を通して伝えていきます。 有限会社 はたやま夢楽 代表取締役社長 小松 圭子氏 6月7日(水)19時～
---	---	---	--	--	---

第一線で活躍する講師陣によるオンラインセミナー
様々な地域づくりのプロセスを学ぶ

“5月中旬”受講生募集開始！

実践コース 地域づくりに意欲がある人

経験豊かな講師陣から、
地域づくりのノウハウを学ぶ

3つのステップを用意

実践で“活”かせる現場力を身に付ける

STEPUP

対面講義

事例に基いた模擬演習
実際に地域づくりを行った事例を題材とした3日間のトレーニング
ワークショップ形式で研修生の連携も推進

STEP 1

オンラインゼミ

研修生の実践活動をケーススタディとして、地域づくりのポイントを紐解く
実際の取組から、農村プロデューサーの視点を養う

STEP 3

農村着火型 プランナー 高橋 信博氏 現場で試行錯誤しながら、地域づくりに取組んでいる皆さんに、地域に消えない火を灯すノウハウを提供します。	一般社団法人 地域活性化センター フェロー 人材育成カディ 前神 有里氏 私達の暮らしは遠くの誰かと繋がって、共に未来を創っています。想い込みをときほぐし、地域の幸せを考えてみませんか。	特定非営利活動法人 いわて地域づくり 支援センター 常務理事 若菜 千穂氏 住民自治のあり方は地域それぞれで、それにより地域運営のあり方も異なります。いろいろな同志の対話が大切です。	一般社団法人 明石コミュニティ 創造協会 常務理事兼事務局長 柏木 登起氏 住民主体の地域づくりに必要不可欠な「対話」の機会を、プロデューサーの皆さん自身が楽しめるよう進めています。
--	---	---	---

講座修了後もネットワークを形成して
地域づくりを継続的にサポート



受講及びお申込みは農林水産省WEBサイトをご覧ください



<https://www.maff.go.jp/j/nousin/course/index.html>

代表:03-3502-8111(内線5535) ダイヤルイン:03-6744-2203

農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課農村政策推進室

▶『農村プロデューサー養成講座』は、農林水産省が農山漁村振興交付金の一事業として、開催を支援しています。◀

実践コース詳細は裏面へ

農村プロデューサー

『農村プロデューサー』とは

地域への愛着と共感を持ち、地域住民の思いを汲み取りながら、
地域の将来像やそこで暮らす人々の希望の実現に向けてサポートする地域づくり人材

是非、実践コースをご受講ください！

地域に消えない火を灯す

地域づくりに決まった答えはありません。だからこそ、地域に寄り添ってサポートする人材が今、全国各地で必要とされています。

本講座は、演習や実践による現場力アップを重視したカリキュラムで構成されています。また、修了後も「農村プロデューサー」がネットワークでつながり、支え合いながら地域づくりに取組めるよう、環境を整えることにも努めています。

地方自治体職員及び地域づくりに意欲がある者等

本講座のうち実践コースの受講対象としている方たちです。都道府県や市町村の職員数が減少傾向にある中で、地域は課題を抱えています。今、これらと向き合い、地域に寄り添う人材の必要性が増大しています。

これまでに受講した方からは、

★これから自分がやるんだという力がもらえた。

★適切な仕掛けによって、ひとの心に火をつけることができるという実感が持てた。

といった感想をいただいています。

実践コースの受講対象者

地方農政局職員	都道府県職員	市町村職員	中間支援組織職員	地域運営組織職員	地域内の意欲ある者	地域おこし協力隊員等	外部人材	集落支援員	J A職員	行政OB・OG等
主な研修対象			主な研修対象ではないものの、受講可							

現場力を身に付ける3段階のカリキュラムを用意

オンライン講義

地域の現状把握・分析手法、実践に向けたロードマップを学びます。7月に2日間、各3時間程度のオンライン講義を受講します。

対面講義（実例を基にした模擬演習）

ワークショップ形式で、現場で実践するためのトレーニングを行う3日間の演習です。7月から10月にかけて、全国8会場にて開催します。研修生は申込みの際、都合の良い会場を選択します。

★8会場：札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、神戸、松山、福岡

オンラインゼミ（実践活動）

研修生の実践活動（モデルケースを選出）を題材として地域づくりのポイントなどを議論するゼミに参加します。8ケース程度を選出し、ケースごとにゼミを開催します。対面講義と並行し、翌年2月にかけて順次開催していきますので、研修生は積極的に参加してください。

講座スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入門コース（オンライン講義）			全6回									
実践コース			2日間（オンライン）									
①オンライン講義			受講申込受付期間									
②実例を基にした模擬演習					3日間の対面講義 ※8会場から1つ選択							
③研修生自らの実践活動					オンラインゼミ 実践前1回							
修了生ネットワーク								研修生 地元で実践				
								オンラインゼミ 実践後1回				
									ネットワーク構築へ			

こんな場面（地域での話合いの場）でも役立ちます

地域計画（旧人・農地プラン） 作成のための地域での話合い

令和4年5月から、人・農地プランは法定化し、地域での話合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」を定め、それを実現すべく、地域内外から農地の受け手を幅広く確保しつつ、農地バンクを活用した農地の集約化等を進めることとなりました。



農村RMO（農村型地域運営組織） 組織形成に向けた“複数集落”での話合い

中山間地域では、集落単体では農用地保全や農業生産のほか、集落機能の維持が難しい状況が増加しています。このため、複数集落を対象として、農用地の保全、地域資源を活用した経済活動、生活支援活動の3つを手掛ける組織（農村RMO）の形成支援が開始されています。



中山間地域等直接支払 「集落戦略」作成のための地域での話合い

中山間地域等直接支払は、第5期対策（令和2年度～令和6年度）から、体制整備単価（10割単価）を受給する要件を、「集落戦略の作成」に一本化しました。集落戦略は、協定農用地の将来像並びに、集落全体の将来像、課題、対策について、協定参加者で話合いを行いながら作成することとされています。



今、農林水産省が所管する対策に限らず、地域づくりに関するあらゆる場面で、**地域での話合い**が求められています。

本講座は、そのように地域と直接関わり、伴走しながら、地域づくりを行うことができる人材の養成を目指しています。